様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年4月10日

群馬県知事　　あて

提出者　〒330-0843
住　所　埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-75-1
　　太陽生命吉敷町ビル５階
氏　名　前田建設工業(株)関東支店
　　常務執行役員支店長　河村展之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　048-649-1607

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田建設工業株式会社　関東支店
事業場の所在地	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-75-1
計画期間	令和８年４月１日～令和９年３月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	令和７年度　完工高249億円
③従業員数	142名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	（別紙１）　廃棄物処理フロー図による

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

（別紙２）　参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類他	
排　出　量	1175.275　t	t

（これまでに実施した取組）

・建築工事の混合廃棄物発生量目標を18kg/㎡（施工面積当たり）に設定
・各作業所で月別排出量予想と実績をグラフ化して状況確認を実施
・梱包材が過剰梱包とならないように依頼（梱包の簡素化）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類他	
排　出　量	160　t	t

（今後実施する予定の取組）

※発生を抑制するための工法の検討
・鋼製型枠の使用、プレキャストかの促進による木製型枠の使用量削減
・梱包の簡素化又は無梱包の促進
・プレカット材の使用による余剰財の削減
※作業所内外での再利用方法の検討
・発生土の場内ストック、埋戻し土としての自ら利用の促進

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・事務所の一般廃棄物と現場の産業廃棄物の分別の徹底
・作業所の総合仮設計画時に廃棄物分別ﾎﾞｯｸｽ置場を設定
・廃棄物の分別状況について安全環境部でチェックと指導を実施

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・新規入場教育時に作業員への分別廃棄の指導を実施
・解体工事前に分別計画を行い、分別回収を徹底する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和７年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和７ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和７ 年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類他	
全処理委託量	1175.275 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	930.555 t	t
再生利用業者への処理委託量	1175.275 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
・委託先の処理業者の現地確認を実施する
・電子マニフェスト導入業者との契約を基本的に行う

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類他	
		全処理委託量	160 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	160 t	t
		再生利用業者への処理委託量	160 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・高リサイクル率業者を選定条件の優先とする		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

産業廃棄物の種類		コンクリートガラ	アスコンがら	その他がれき類	陶磁器・ガラスくず	廃プラスチック	混合廃棄物（安定型）	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混合廃棄物（管理型）	合計
排出抑制	前年度排出量（実績）	251.02	69.92	42.92	52.00	114.625	1.56	11.40	280.50	63.90	287.430	1,175.275
	本年度排出量（計画）	20.0	5.0	20.0	20.0	30.0	5.0	10.0	20.0	10.0	20.0	160.0
自ら再生利用を行った（行う）量	前年度実績	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画（目標）	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理 自ら熱回収を行った（行う）量	前年度実績	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画（目標）	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理 自ら中間処理により減量した（する）量	前年度実績	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画（目標）	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量	前年度実績	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計画（目標）	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
処理の委託 全処理委託量	前年度実績	251.02	69.92	42.92	52.00	114.625	1.56	11.40	280.50	63.90	287.430	1,175.275
	計画（目標）	20.0	5.0	20.0	20.0	30.0	5.0	10.0	20.0	10.0	20.0	160.0
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	136.16	10.36	42.92	52.00	114.625	1.56	11.40	280.50	15.60	13.416	678.541
	計画（目標）	20.0	5.0	20.0	20.0	30.0	5.0	10.0	20.0	10.0	20.0	160.0
再生利用業者への処理委託量	前年度実績	251.02	69.92	42.92	52.00	114.625	1.56	11.40	280.50	63.90	287.430	1,175.275
	計画（目標）	20.0	5.0	20.0	20.0	30.0	5.0	10.0	20.0	10.0	20.0	160.0
認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0		0	0	0	0	0		0	0	0
	計画（目標）	0		0	0	0	0	0		0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0		0	0	0	0	0		0	0	0
	計画（目標）	0		0	0	0	0	0		0	0	0

【記載方法】

・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください
業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、下段に記載のそれぞれの内訳を記載してくた

・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。

・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。